

あいち農産物生産流通レポート

2024年9月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 『豊明・東郷グリーンセンター「Love it TO ² 」(ラブイットト)』がオープンしました。	(尾張農林水産事務所) 1
・ 県内トップを切って新米出荷! あいち米初出荷式が開催されました!	(海部農林水産事務所) 2
・ 日持ち性に優れたトマト品種「麗月」の導入	(新城設楽農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・ 施設園芸と植物工場に特化した国内唯一の専門展示会が開催	(東京事務所) 4
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	20

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

『豊明・東郷グリーンセンター「Love it T0²」(ラブイットト)』がオープンしました。

尾張農林水産事務所

J Aあいち尾東の新施設『豊明・東郷グリーンセンター「Love it T0² (ラブイットト)』が、令和6年6月14日(金)に豊明市にオープンしました。

豊明市・東郷町の地元農産物を中心に、知多牛・みかわ牛、みかわポークなどの愛知県産の肉や漁港から直送された鮮魚も豊富に取り揃えています。

1 地元の三大施設を統合した総合施設

豊明フレッシュセンター・豊明西部産直センター・東郷グリーンセンターの3店舗を統合した『豊明・東郷グリーンセンター「Love it T0² (ラブイットト)』は農業者の重要な販路であるとともに、農産物に必要な資材も豊富に取り揃え、新たな農業者の拠点として建設されました。プロの農家も満足する(もちろん家庭菜園にも)お役立ちの商品が揃います。



センスあふれる施設入口

2 つくるって楽しい、食べるって楽しい

買い物だけでなく、ファミリーや若者にもより身近に農業を感じてもらい地産地消が根付くよう「つくるって楽しい、食べるって楽しい」をコンセプトに様々なイベントが季節ごとに開催される予定です。

都市近郊であるため、市外からの集客も視野に入れ、地元農産物を知ってもらうアンテナショップとしての機能も期待しています。



開放的な店内♪

3 人気パン屋とカフェの併設で話題に

敷地内には名古屋発祥のパン屋「PICASSO (ピカソ)」が名古屋郊外に初出店し、人気のカレーパンを始め様々なパンを求めて幅広い年代の方々に連日賑わっています。

「お買い物ついでに!」、「ランチだけ目指して!」などの様々な目的で訪れるカフェ「PABLO (パブロ)」では、本格パスタや絶品ケーキがいただけます。この2店舗にファミリーや若者などが訪れ、「Love it T0²」にも賑わいを生んでいます。



「PABLO」と「PICASSO」

トレンドのグルメスポットを誘致し、ファミリーや若者を新しい客層としてターゲットに加えた新店舗は、産直施設特有の客層の高齢化といった課題解決の糸口になる可能性を感じる施設です。

県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！

海部農林水産事務所

愛知県では、8月上旬から10月にかけて「あいちの新米」の収穫が続きます。

早場米の産地である弥富市鍋田地区では、2024年8月9日(金)に県内のトップを切って今年の新米が出荷されました。

この日、JA あいち海部鍋田集出荷場で、JA あいち海部と JA あいち経済連の主催により、あいち米の初出荷式が開催されました。初出荷式には、弥富市長を始めとする管内の関係者のほか、海部農林水産事務所長などの県関係者も臨席しました。

一日検査員を委嘱された JA あいち海部マスコットキャラクターの「あまにゃん」による出荷米の検査、出席者によるテープカットなどのセレモニーが行われた後、「あきたこまち」4,351袋(1袋30kg)を積んだトラックが集出荷場から出発しました。出荷された米はすべて1等米で、8月10日以降、県内のスーパーなどで販売されました。

JA あいち海部鍋田地区は、水稻生産出荷農家が154名、作付面積633haのうち「あきたこまち」と「コシヒカリ」が8割近くを占める早場米の産地で、「あきたこまち」を皮切りに水稻の収穫が始まっています。本年産の「あきたこまち」は、高温やイネカメムシの多発など栽培管理条件の厳しい中でありましたが、生産者の適切な栽培管理により、順調に生育が進み、作柄は平年並で、品質は良好です。



新米を検査する「あまにゃん」



出発式のテープカット



出荷を待つ「あきたこまち」



新米を載せたトラック

日持ち性に優れたトマト品種「麗月」の導入

新城設楽農林水産事務所

当農林水産事務所管内は中山間地域に属する地域で、夏でも比較的涼しく昼夜の気温差が大きい気候が特徴です。このような特徴を活かし、夏から秋にかけて収穫されるトマトが栽培されており、「奥三河高原トマト」として名古屋・浜松市場へ出荷されています。

一方、夏季のトマト果実は軟化しやすいことなどから、市場からは日持ち性の良い品種の導入が期待されています。このことから、産地では品質が優れ、日持ちの良い新たな品種「麗月（れいげつ）」の導入・定着に向けた取組が行われています。

1 産地概要

J A愛知東トマト部会は、作手・名倉・津具の3地域支部で構成されており、生産者59戸・栽培面積約12ha・生産量1,368t（R5）で愛知県内唯一の夏秋トマト産地です。



J A愛知東「奥三河高原トマト」

2 「麗月」の導入の経緯と取組

市場から日持ちの良いトマト品種を出荷して欲しいとの要望を受けたことをきっかけに、令和元年から「麗月」の導入に向けた検討が始まりました。当農林水産事務所では慣行品種との比較試験の実施や栽培管理指針の作成等により、地域への普及を後押ししています。



「麗月」栽培の様子（ヤシ殻培地）

3 導入実績

当初、数戸の生産者が試験的に栽培を開始しましたが、裂果が少ないことや高温への耐性が評価され、設楽町（名倉地区、津具地区）を中心に徐々に栽培する生産者が増えました。

「麗月」は、設楽町では生産者35戸（690a）のうち、約半数の20戸（340a）、新城市（作手地区）でも24戸（484a）のうち6戸（80a）が栽培しており、産地全体の35%で当品種が栽培されています。

4 今後の展望

当農林水産事務所では、引き続き生産者・市場の評価を整理し、生産者へ情報提供するなど、さらなる「麗月」の普及に向けた取組を進めていきます。



左：麗月 右：慣行品種

施設園芸と植物工場に特化した国内唯一の専門展示会が開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

「施設園芸・植物工場展」及び「スマートアグリジャパン」(スマート農業機器・技術展)(主催:一般社団法人日本施設園芸協会)が令和6年7月24日(水)~26日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区有明3丁目)で開催されました。

1 「稼げる施設園芸、農業が変わる、日本が変わる」をテーマに最新情報を提供

「施設園芸・植物工場展」は、施設園芸と植物工場における資材・技術やサービスが集まる専門展示会で、農業のエンドユーザーとなる生産者を主要なターゲット層とし、施設本体・資材、付帯設備・機器、生産管理機器・システム、流通・加工・包装、業務効率化提案・機器等の分野に関わる国内外の企業・団体の出展がありました。

「スマートアグリジャパン」は、施設園芸・植物工場におけるスマート化に係わる製品・技術やサービスが集まる専門展示会で、スマート農業技術、施設園芸・果樹用ロボット及びドローン、栽培・育成管理システム、農業参入・営農支援等の分野に関わる国内外の企業・団体の出展がありました。

会場では計182の企業・団体のブースが設置され、来場者数は3日間で延べ41,564名となりました(主催者発表)。両展示会ともにビジネス関係者だけではなく生産者の姿も見られ、課題解決や情報収集等を目的とした活発な意見交換や商談が行われていました。



賑わいを見せる各出展者のブース

2 本県農業と関わりのある出展ブースについて

本県では、新しい農業イノベーションを創出するために「あいち農業イノベーションプロジェクト」を令和3年度から進めています。高圧ガス工業(株)(大阪府)のブースでは、本プロジェクトにおける農業総合試験場園芸研究部野菜研究室との共同研究「企業等から排出される炭酸ガスを活用したイチゴ群落内施用システムの開発」(令和4年度、対象作物:いちご)の成果が動画で紹介されていました。動画はいちごの群落内にCO₂を施用した時のガスの動態を特殊なカメラで撮影したもので、現在CO₂の利用効率を高める施用技術を開発中とのことでした。

また、ヤンマーグリーンシステム(株)(兵庫県)のブースでは、同社など11機関の連携による国のスマート農業実証プロジェクト「JA西三河いち

本県との共同研究成果の動画紹介
(高圧ガス工業(株))

ご部会における生産から販売のデータ駆動一貫体系の実証」(令和5～6年度)の取り組みとして「いちごスマート選果システム」が紹介されていました。本システムは、トレイ上のすべてのいちごの重さ・形状・色合いをカメラ画像とX線画像でそれぞれ測定し、測定結果で判別した等階級をモニターに示すと共に、トレイ上のいちごへ順番に光で示して効率的なパック詰め作業をサポートします。プロジェクト目標の1つ「いちごのパック詰め作業の労働時間 20%削減」を実証していく中で、ソフトウェアの最適化により、本システムの等階級の選別能力をプロ農家より少し上のレベルまで向上させることができたそうです。

3 専門セミナーの紹介

会場内では業界のフロントランナーによる多彩なテーマの専門セミナーが連日開催されました。

○演題

「栽培コンサルタントからみた施設園芸での持続可能な発展に必要なこと」
(株)デルフィージャパン ホーティカルチャースペシャリスト 斉藤 章 氏

○概要

- ・(株)デルフィージャパンは、農作物の栽培に関する最先端で実践的な専門知識をコンサルティングとオンラインセミナーの2つの手段で生産者や企業に提供している。
- ・農業経営のステージには「生業」、「家業」、「事業」があり、決算書をすぐに出せる生産者は「事業」として農業に取り組んでいる。
- ・高収益を上げるためには必ずしも高度な施設は必要ではなく、自分に合った施設が必要である。作業遅れがなく、作業の質が高く、病虫害の発生がなく、生育ムラがないことが高収益を上げるポイントである。
- ・施設園芸での持続可能な発展には、知識(植物生理)と技術(データ解析力、植物観察力)、最新の情報が必要である。技術は短時間では身につかないが、知識は短時間で習得でき、技術や経験不足を補うことができる。
- ・観察は主観的であり、生育調査は客観的である。観察は毎日すべての植物を対象に行うものであり、変化に早く気づける。生育調査は定期的に調査株を対象に行うものであり、変化を正確に捉えられる。どちらが良いかは重要ではなく、その違いを理解して、主観的判断のみではなく客観的判断を行うことも重要である。
- ・再現性のある栽培には、データの活用、外部専門家の活用が必要である。



(株)デルフィージャパン 斉藤氏のセミナー

スマート農業技術の社会実装が進むにつれて、農業生産現場では新たな栽培技術や品種の導入に加え、スマート農業技術を効果的・効率的に活用するために、コンサルティング業務のニーズも高まると思われることから、新しい技術を普及させる農業改良普及事業に求められる役割は益々大きくなるものと考えられます。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
				愛知産	
2023年実績	355	354 (100%)	1,087	1,085	愛知 (100%)
2024年見通し	320	—	1,100	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
ほぼ全量を愛知から入荷する。夏季の高温・少雨の影響で小粒傾向であるが、カビ等の発生もなく品質は良い。今後の天候に大きな変動がなければ、9月以降はだんだら入荷となる見込み。 【見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.0%) 価 格：前年並。(1.2%)			8月中はカビ等の発生も少なく良い品質であった。今後は台風等の影響で出荷が不安定な時期になるが、引き続き選果選別をしっかりと行い、品質を維持して欲しい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
				愛知産	
2023年実績	240	83 (35%)	2,182	2,820	愛知 (35%) 茨城 (13%)
2024年見通し	290	—	1,700	—	埼玉 (10%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
着果数は少なかった前年より多いものの、小粒傾向であり、大粒割合が減少する見込み。また、夏季に高温・少雨の傾向が続いていることから、出荷後半に障害果の発生が懸念される。愛知産は早出しが8月後半から始まり、9月中下旬には「藤九郎」が加わっての入荷となる。 【見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(20.8%) 価 格：前年を大幅に下回る。(△22.1%)			ぎんなんは秋の味覚として業務用を中心に人気が高く、量販店でも10月～11月に需要が強まる。 愛知産は品質・選別ともに良好で、今後も継続した取組をお願いしたい。 9月は高温、多湿の日が多く、カビの発生が懸念されるため、出荷に際しては選別や品質保持の徹底をお願いしたい。		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	34,117	231	235	239	216	北海道 43%
	2020年	36,067	217	222	211	217	長野 25%
	2021年	34,120	252	246	271	242	群馬 9%
	2022年	34,990	237	238	243	231	茨城 5%
	2023年	33,394	259	267	266	245	岐阜 4%
	5カ年平均	34,538	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	34,000	250	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
だいこん	2019年	2,045	83	84	80	91	青森 51%
	2020年	1,653	111	120	102	115	北海道 33%
	2021年	1,907	114	94	134	119	岐阜 14%
	2022年	1,643	150	158	142	153	長野 1%
	2023年	1,331	146	141	158	147	
	5カ年平均	1,716	118	116	120	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,600	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
にんじん	2019年	2,134	118	127	129	103	北海道 99%
	2020年	2,432	114	112	120	110	中国 1%
	2021年	2,620	110	119	120	96	
	2022年	1,777	198	214	238	158	
	2023年	1,864	212	230	222	192	
	5カ年平均	2,165	144	154	159	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,000	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

8月31日 現在

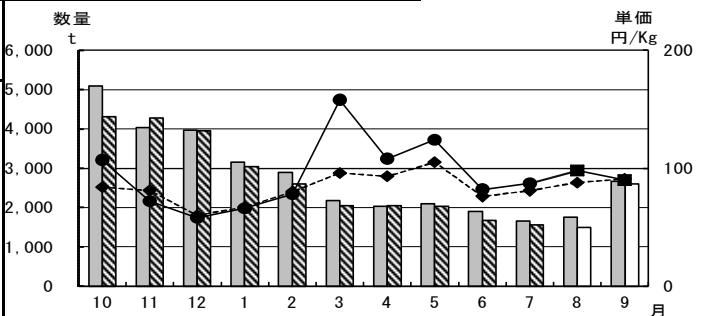
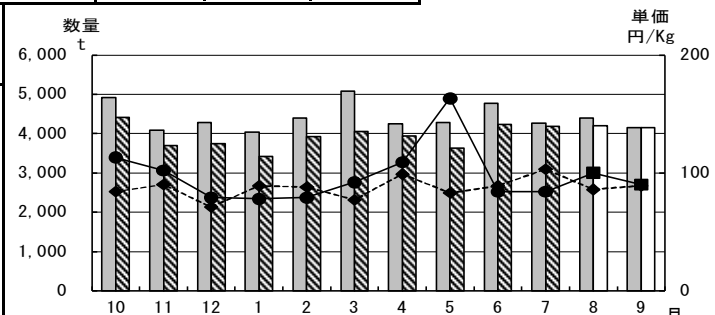
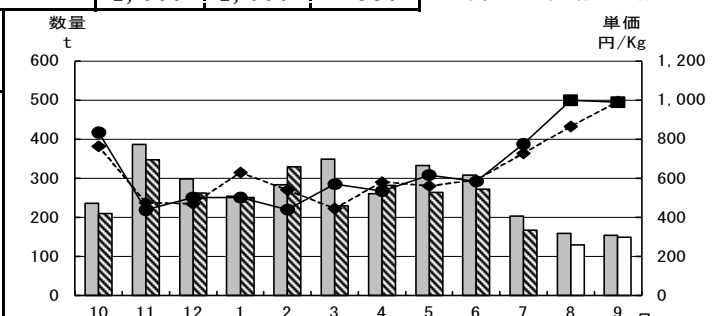
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	124,781	257	269	255	246	北海道 28%
	2020年	120,742	249	252	242	254	長野 19%
	2021年	115,662	285	272	307	280	群馬 17%
	2022年	120,790	265	268	267	261	茨城 7%
	2023年	110,690	309	306	319	302	青森 5%
	5ヵ年平均	118,533	272	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	119,000	270	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 高温予報のため果菜類は品質低下による入荷減が懸念されるが、にんじん、たまねぎは生育順調で安定した入荷となる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(7.5%) 価格：前年をかなり下回る。(△12.6%)</p>					<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 月</p> <p>■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価</p>
だいこん	2019年	10,109	87	92	78	91	北海道 52%
	2020年	8,558	107	115	97	111	青森 38%
	2021年	8,977	109	96	117	113	群馬 5%
	2022年	8,023	143	152	138	140	岩手 3%
	2023年	7,023	152	147	158	150	神奈川 2%
	5ヵ年平均	8,538	117	118	114	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	7,000	150	145	145	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 入荷先の主体は北海道、青森となる。高温障害で入荷は不安定になるが、肥大は問題なくL・2L中心となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価格：前年並。(△1.3%)</p>					<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 月</p> <p>■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価</p>
にんじん	2019年	7,122	120	115	124	120	北海道 92%
	2020年	7,075	116	114	112	123	中国 5%
	2021年	7,789	111	118	115	102	千葉 2%
	2022年	6,215	209	217	218	192	
	2023年	5,486	226	211	251	215	
	5ヵ年平均	6,737	151	150	157	145	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	6,100	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 入荷先の主体は北海道となる。北海道産は概ね生育順調で安定した入荷となる。肥大も良く、M中心となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(11.2%) 価格：前年を大幅に下回る。(△38.1%)</p>					<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 月</p> <p>■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価</p>

名古屋市中央卸売市場

8月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2019年	2,826	104	132	90	長野 99%	
	2020年	3,028	90	107	82		
	2021年	2,383	131	101	178		
	2022年	2,829	85	75	87		
	2023年	2,661	91	92	104		
	5ヵ年平均	2,745	99	102	106		
2024年見通し	2,600	90	85	95	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 現在、高温、干ばつで生育停滞状況のため、入荷量少ないが、降雨があれば生育が回復してくる見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.3%) 価格：前年並。(△1.1%)							
キヤベツ	2019年	4,216	95	102	100	群馬 62%	
	2020年	4,365	110	127	106	長野 25%	
	2021年	4,507	102	89	106	北海道 11%	
	2022年	4,406	79	75	75	岩手 2%	
	2023年	4,148	89	91	90	茨城 0%	
	5ヵ年平均	4,328	95	97	95	96	
2024年見通し	4,150	90	90	90	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 現在、高温、干ばつで生育停滞状況のため、入荷量少ないが、降雨があれば生育が回復してくる見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.0%) 価格：前年並。(1.1%)							
ほうれんそう	2019年	166	839	932	833	793	岐阜 96%
	2020年	151	946	892	999	973	長野 2%
	2021年	205	881	980	1,001	757	愛知 1%
	2022年	178	888	916	889	895	群馬 1%
	2023年	155	994	1,116	956	948	
	5ヵ年平均	171	906	966	937	865	
2024年見通し	150	990	1,000	1,000	950	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 生産者の減少及び高温による生育不良により、平年よりも少ない出荷となる見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.2%) 価格：前年並。(△0.4%)							

東京都中央卸売市場

8月31日 現在

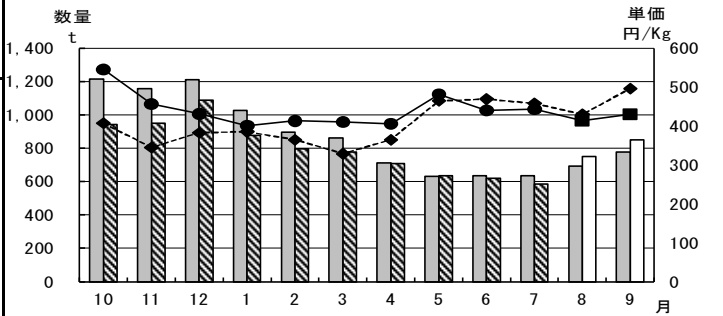
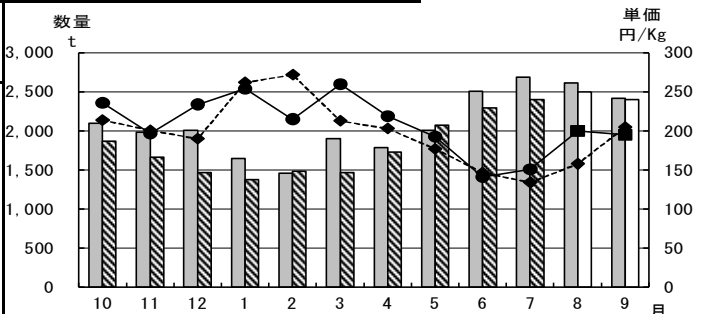
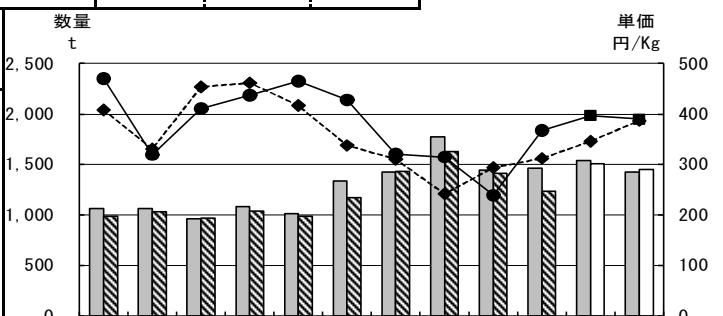
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	2019年	10,177	101	92	90	126	長野 98%
	2020年	9,590	96	109	85	96	群馬 1%
	2021年	8,350	150	118	199	143	茨城 1%
	2022年	9,708	85	72	85	96	
	2023年	9,005	92	95	99	83	
	5ヵ年平均	9,366	104	97	109	108	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	2024年見通し	9,000	95	90	105	90	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	【産地状況】 入荷先の主体は長野となる。長野県の産地では高温障害はみられず、生育順調で、10月上旬まで漸増傾向を見込む。						
	【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.1%) 価格：前年をやや上回る。(3.3%)						
キヤベツ	2019年	16,788	93	102	95	82	群馬 79%
	2020年	15,430	120	145	111	103	岩手 11%
	2021年	16,724	107	89	114	119	長野 8%
	2022年	17,619	73	67	68	83	北海道 1%
	2023年	15,585	90	91	88	91	千葉 1%
	5ヵ年平均	16,429	96	98	95	95	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	2024年見通し	15,500	90	90	90	90	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	【産地状況】 入荷先の主体は群馬となる。群馬県の産地は生育順調であるが、前年ほど大玉にはならない見込み。						
	【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.5%) 価格：前年並。(0.0%)						
ほうろ	2019年	832	797	879	814	725	群馬 42%
	2020年	651	929	858	1,073	883	栃木 32%
	2021年	875	806	991	945	638	岐阜 9%
	2022年	884	777	819	795	726	茨城 8%
	2023年	606	1,045	1,144	1,069	951	岩手 3%
	5ヵ年平均	770	856	929	923	768	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	2024年見通し	620	1,000	950	1,100	950	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	【産地状況】 入荷先の主体は群馬、栃木となる。猛暑のため、前年に続き、平年より少ない入荷を見込む。						
	【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.3%) 価格：前年をやや下回る。(△4.3%)						

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	962	376	373	362	399	北海道 47%
	2020年	816	407	367	414	443	長野 26%
	2021年	932	404	394	433	401	茨城 6%
	2022年	923	418	427	403	430	中国 5%
	2023年	777	496	427	403	430	静岡 3%
	5カ年平均	882	418	397	402	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	850	430	400	460	430		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 北海道、長野、富山は天候の影響がなければ、順調な出荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(9.4%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△13.3%)</p>						
し	2019年	2,474	199	199	216	185	長野 98%
	2020年	2,837	128	133	117	135	茨城 2%
	2021年	1,887	274	259	342	247	
	2022年	2,498	195	172	215	208	
	2023年	2,414	205	232	217	166	
	5カ年平均	2,422	194	194	212	184	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	2,400	195	190	200	190		
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 長野は高温、干ばつから生育は順調ではないものの、気象災害がなければ平年並の入荷を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.6%) 価格：前年をやや下回る。(△4.9%)</p>						
き	2019年	1,472	339	409	312	290	長野 40%
	2020年	1,478	375	340	377	415	北海道 19%
	2021年	1,403	395	435	439	334	群馬 17%
	2022年	1,501	327	369	305	304	山梨 15%
	2023年	1,427	387	404	391	361	岩手 2%
	5カ年平均	1,456	364	391	364	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	1,450	390	400	390	380		
き	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 猛暑の影響で各産地は前進出荷の傾向。上旬は夏秋作のなり疲れにより入荷は減少の見込み。中下旬に抑制作が始めれば、入荷は安定する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.6%) 価格：前年並。(0.8%)</p>						

東京都中央卸売市場

8月31日 現在

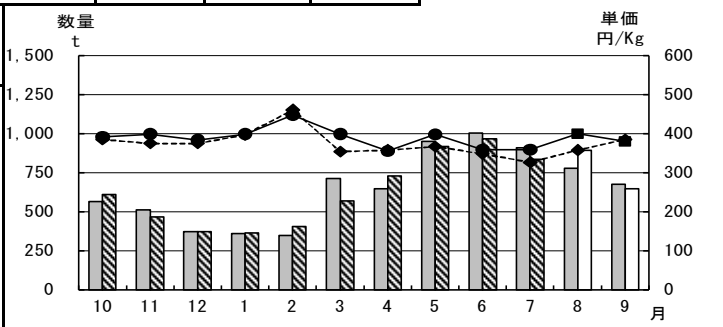
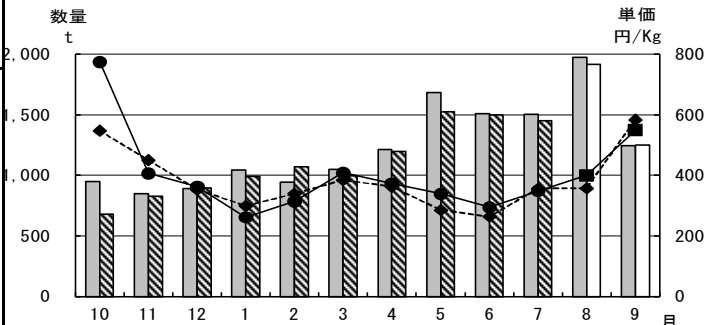
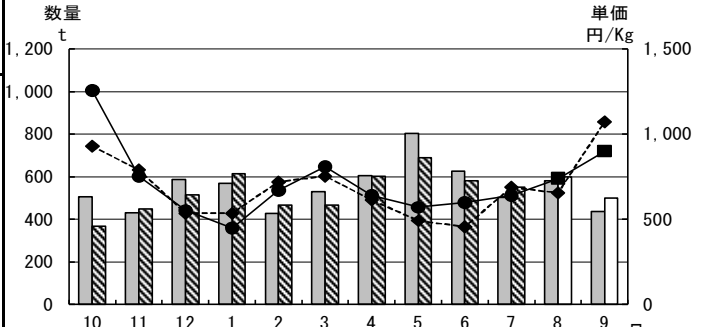
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	4,662	385	353	389	412	北海道 20%
	2020年	4,153	411	348	401	485	青森 19%
	2021年	4,513	381	393	411	348	秋田 18%
	2022年	4,674	442	449	424	452	茨城 9%
	2023年	3,886	600	541	596	656	山形 7%
ねぎ	5ヵ年平均	4,378	440	414	440	464	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ねぎ	2024年見通し	4,200	390	410	380	380	
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
ねぎ	【産地状況】 入荷先の主体は北海道、青森等となる。各産地とも概ね生育順調であるが、高温のため肥大が鈍く、やや細物傾向となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(8.1%) 価格：前年を大幅に下回る。(△35.0%)						
しめじ	2019年	8,928	199	206	213	177	長野 85%
	2020年	9,824	122	128	109	129	群馬 11%
	2021年	7,117	303	284	399	257	茨城 2%
	2022年	9,209	202	184	231	197	岩手 1%
	2023年	9,144	205	249	216	159	栃木 1%
しめじ	5ヵ年平均	8,844	200	206	224	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
しめじ	2024年見通し	8,900	200	180	210	210	
しめじ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
しめじ	【産地状況】 入荷先の主体は長野となる。長野県は雨が長く、傷みが生じている産地がある。入荷量は上旬に盛期を過ぎ漸減する。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.7%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.4%)						
きゅうり	2019年	7,946	309	398	269	260	福島 29%
	2020年	7,161	346	295	367	390	群馬 18%
	2021年	6,813	362	407	406	299	埼玉 11%
	2022年	7,610	284	334	257	257	岩手 10%
	2023年	7,156	347	344	351	344	茨城 8%
きゅうり	5ヵ年平均	7,337	328	356	327	308	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
きゅうり	2024年見通し	7,200	350	370	340	340	
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
きゅうり	【産地状況】 入荷先の主体は福島、群馬等となる。各産地とも生育順調であるが、上旬は高温の影響で正品率が下がる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.6%) 価格：前年並。(0.9%)						

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	2019年	789	360	354	365	368	山梨 30%
	2020年	670	356	288	359	446	愛知 26%
	2021年	584	434	395	520	416	徳島 13%
	2022年	658	326	301	302	391	群馬 10%
	2023年	675	385	383	396	377	長野 8%
	5カ年平均	675	370	343	385	398	
	2024年見通し	650	380	380	390	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 高温等の影響で入荷は前年を下回る。給食需要等により高値の予想。下旬に愛知等の促成ナスが入荷すれば品薄は解消する。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.7%) 価格：前年並。(△1.3%)						
ト マ ト	2019年	1,267	482	464	467	540	岐阜 76%
	2020年	1,392	405	398	372	467	愛知 10%
	2021年	1,181	517	462	544	564	北海道 8%
	2022年	1,414	470	442	452	530	大分 3%
	2023年	1,244	584	465	680	614	長野 2%
	5カ年平均	1,300	489	445	498	541	
	2024年見通し	1,250	550	500	550	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 猛暑の影響により各産地前進出荷しており、9月の入荷は平年より少ない見込み。高温により樹勢低下や花落ちも多い。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.5%) 価格：高値だった前年をやや下回る。(△5.8%)						
ミ ニ ト マ ト	2019年	531	878	692	1,026	954	北海道 56%
	2020年	624	620	578	588	721	茨城 20%
	2021年	512	986	938	962	1,071	長野 9%
	2022年	566	883	874	855	931	愛知 5%
	2023年	436	1,072	849	1,053	1,435	熊本 3%
	5カ年平均	534	871	777	879	996	
	2024年見通し	500	900	800	900	1,000	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 需要期となり引き合い強く、単価高め。高温の影響で入荷は少ない見込み。茨城の抑制作は中下旬にピークとなる。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(14.7%) 価格：高値だった前年を大幅に下回る。(△16.0%)						

東京都中央卸売市場

8月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2019年	3,662	372	340	371	416	群馬 37%
	2020年	3,795	320	259	329	412	栃木 23%
	2021年	3,147	402	349	509	377	茨城 22%
	2022年	3,922	288	283	262	330	高知 7%
	2023年	3,658	375	369	398	357	埼玉 3%
な	5ヵ年平均	3,637	349	318	368	378	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
な	2024年見通し	3,700	370	370	370		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は群馬、栃木等となる。入荷は上旬が盛期で、中旬以降も安定した量となるが、秋商材のため荷動きは良い。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.1%) 価格：前年並。(△1.3%)</p>						
ト	2019年	6,321	463	473	412	532	千葉 17%
	2020年	7,018	374	354	339	461	北海道 17%
	2021年	5,902	489	429	547	506	福島 16%
	2022年	6,371	470	452	448	518	群馬 11%
	2023年	5,434	609	479	736	620	茨城 9%
ト	5ヵ年平均	6,209	475	434	485	524	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	2024年見通し	5,500	550	560	530	560	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は千葉、北海道等となる。高温による品質低下が懸念され、入荷量が増えない産地があると見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.2%) 価格：前年をかなり下回る。(△9.7%)</p>						
ニ	2019年	1,874	829	715	886	890	北海道 30%
	2020年	2,113	602	569	570	684	茨城 22%
	2021年	1,839	948	895	968	982	千葉 16%
	2022年	1,992	874	854	856	915	青森 11%
	2023年	1,736	1,054	865	1,043	1,297	山形 5%
ニ	5ヵ年平均	1,911	852	774	854	941	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ニ	2024年見通し	1,800	1,020	900	960	1,200	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は北海道、茨城等となる。入荷量は、北海道産が漸減するため、下旬の全体量は少なめとなる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(3.7%) 価格：前年をやや下回る。(△3.2%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

8月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	2019年	439	479	494	544	458	茨城 34%	
	2020年	493	481	497	497	505	北海道 26%	
	2021年	517	456	480	480	454	青森 18%	
	2022年	506	404	461	455	424	岩手 9%	
	2023年	398	624	616	673	654	長野 9%	
	5カ年平均	471	483	505	523	493	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	440	580	550	600	600		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 上旬は夏秋作の入荷が安定してある。中下旬は秋ピーマンとの切り替わりで入荷は少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(10.6%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△7.1%)							
	干ばつ	2019年	2,775	98	101	100	90	北海道 100%
2020年		3,305	110	111	107	110		
2021年		2,423	184	183	188	181		
2022年		2,524	127	143	117	117		
2023年		2,447	131	131	138	125		
5カ年平均		2,695	128	132	128	123	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し		2,500	140	160	150	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 干ばつの影響により小玉傾向で、L中心。中旬に各JAが出揃い、潤沢な入荷となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.2%) 価格：前年をかなり上回る。(6.9%)								
たまねぎ		2019年	4,870	80	82	81	77	北海道 99%
	2020年	5,707	75	81	73	75	兵庫 1%	
	2021年	5,952	101	95	104	105		
	2022年	6,411	107	109	113	101		
	2023年	6,620	100	105	106	99		
	5カ年平均	5,912	94	95	97	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	6,500	100	100	100	100		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 干ばつ気味だが、生育良好でL大、L中心の入荷となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.8%) 価格：前年並み。(0.0%)							

東京都中央卸売市場

8月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
ピー マ ン	2019年	2, 2 6 3	4 2 4	420	460	390	茨城 39%
	2020年	2, 4 7 6	4 2 8	416	423	450	岩手 37%
	2021年	2, 4 9 4	4 1 7	420	427	406	福島 14%
	2022年	2, 7 3 7	3 3 8	367	335	311	青森 6%
	2023年	2, 1 5 7	5 8 2	553	602	586	千葉 1%
	5ヵ年平均 2024年見通し	2, 4 2 5 2, 2 0 0	4 3 2 5 0 0	431 500	443 500	423 500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 (t)		単価 (円/Kg)		
【産地状況】 入荷先の主体は茨城、岩手等となる。入荷量は、東北産は漸減し、茨城産は高温のため平年ほど増えない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(2.0%) 価 格：前年をかなり下回る。(△14.1%)							
ば れ い し ょ	2019年	7, 1 2 9	1 0 7	113	110	99	北海道 99%
	2020年	7, 5 4 5	1 1 8	117	118	121	青森 1%
	2021年	6, 2 1 2	1 9 3	194	197	189	
	2022年	5, 8 2 2	1 4 2	160	140	125	
	2023年	6, 8 0 2	1 3 4	137	134	130	
	5ヵ年平均 2024年見通し	6, 7 0 2 6, 7 0 0	1 3 7 1 6 0	142 150	138 180	131 150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 (t)		単価 (円/Kg)		
【産地状況】 入荷先の主体は北海道となる。北海道産は7月の干ばつの影響で小玉傾向であり、入荷はL・LM中心となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.5%) 価 格：前年を大幅に上回る。(19.4%)							
た ま ね ぎ	2019年	9, 1 1 8	8 4	85	86	82	北海道 96%
	2020年	9, 6 3 5	8 3	87	82	79	中国 2%
	2021年	9, 7 6 7	1 0 9	106	110	111	富山 1%
	2022年	9, 7 1 5	1 1 7	119	119	112	兵庫 1%
	2023年	9, 3 7 6	1 0 5	102	107	107	
	5ヵ年平均 2024年見通し	9, 5 2 2 9, 4 0 0	1 0 0 1 0 5	100 105	101 105	98 105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 (t)		単価 (円/Kg)		
【産地状況】 入荷先の主体は北海道となる。北海道産は生育順調で肥大も良く、入荷はL大中心となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.3%) 価 格：前年並。(0.0%)							

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	8,462	441	439	414	429	長野 22%
	2020年	7,649	508	548	513	477	フィリピン 18%
	2021年	8,340	469	488	467	463	三重 8%
	2022年	9,653	464	468	454	478	青森 7%
	2023年	8,387	537	570	532	514	熊本 6%
	5カ年平均	8,498	483	—	—	—	
2024年見通し	9,000	510	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 ぶどう、なし、りんご、みかんを中心に入荷する。ぶどうはシャインマスカットがピークを迎える。りんごは猛暑による着色不良が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(7.3%) 価格：前年をやや下回る。(△5.0%)</p>						
みかん	2019年	1,211	326	430	330	292	三重 50%
	2020年	1,331	352	459	375	300	熊本 27%
	2021年	1,417	320	451	339	278	宮崎 13%
	2022年	1,138	351	565	347	302	佐賀 3%
	2023年	1,349	328	449	341	303	愛媛 2%
	5カ年平均	1,289	335	468	347	295	
2024年見通し	1,200	340	510	350	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 中旬にハウスみかんが終了。上旬から極早生みかんが入荷。九州から四国は裏年傾向だが、極早生ミカンは表裏による差が少ない。和歌山から静岡は表年傾向となる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.0%) 価格：前年をやや上回る。(3.7%)</p>						
なし	2019年	1,712	364	367	373	359	長野 61%
	2020年	1,120	509	523	508	525	富山 10%
	2021年	1,338	429	439	409	448	愛知 9%
	2022年	2,063	355	354	346	369	新潟 8%
	2023年	1,299	503	488	498	534	秋田 4%
	5カ年平均	1,506	419	420	414	432	
2024年見通し	1,510	430	450	400	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 中・晩生種の着花状態が良く、前年を上回る入荷の見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(16.2%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△14.5%)</p>						

注：前年及び本年2～6月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記

東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	32,344	460	492	462	430	青森 11%
	2020年	27,127	573	623	574	525	山梨 9%
	2021年	30,821	523	542	525	507	栃木 9%
	2022年	33,599	504	547	490	475	長野 9%
	2023年	29,956	584	610	576	569	和歌山 7%
	5ヵ年平均	30,769	526	—	—	—	
2024年見通し	29,500	585	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 なし、りんご、ぶどうなどが入荷する。りんごは各産地の入荷が始まり生育順調。かきはカメムシ害、日焼け果で入荷量減となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.5%) 価格：前年並。(0.2%)</p>						
みかん	2019年	2,969	302	498	292	268	宮崎 32%
	2020年	2,853	324	427	329	291	熊本 27%
	2021年	3,812	291	425	296	249	佐賀 14%
	2022年	2,695	315	492	315	265	愛媛 13%
	2023年	3,323	310	463	299	289	静岡 4%
	5ヵ年平均	3,130	307	459	305	272	
2024年見通し	3,000	340	430	300	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 露地の極早生みかんは9月上旬から入荷が始まる。宮崎は裏年にあたり入荷量は前年を大幅に下回る見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△9.7%) 価格：前年をかなり上回る。(9.7%)</p>						
なし	2019年	9,547	330	343	331	300	栃木 34%
	2020年	6,146	504	524	484	493	福島 18%
	2021年	7,068	371	375	357	382	茨城 16%
	2022年	10,128	335	310	328	362	千葉 14%
	2023年	7,982	405	401	394	429	長野 5%
	5ヵ年平均	8,174	379	379	370	384	
2024年見通し	7,800	415	410	400	435	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
なし	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 栃木、茨城など各産地は干ばつの影響により小玉傾向。総じて入荷量減の単価高の推移となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.3%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.5%)</p>						

切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月3日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2019年	1, 8 8 8	6 1	
		2020年	1, 6 9 8	6 0	
		2021年	1, 4 6 8	6 3	
		2022年	1, 4 7 0	6 3	
		2023年	1, 7 0 3	6 3	
	5カ年平均	1, 6 4 5	6 2		
	2024年見通し	1, 4 5 0	6 5		
概要	愛知、長野中心に入荷。夏場の高温の影響でダラダラとした出荷となる。作付が減少している上、台風の被害もあり、彼岸等の需要期に向けて増える見込が薄い。単価は堅調に推移する見込み。				
小 ぎ	実績	2019年	1, 5 9 5	4 0	
		2020年	1, 3 3 3	4 1	
		2021年	1, 5 0 3	3 8	
		2022年	1, 3 8 3	3 4	
		2023年	8 3 9	6 0	
	5カ年平均	1, 3 3 1	4 1		
	2024年見通し	8 0 0	6 0		
概要	愛知、長野、埼玉、岩手からの入荷。赤小の出が悪いが2週目以降増えてくる。8月の天候の影響で品質、出荷量とも低下し、注文率も上がっており、出回りは少ない。8月同様高値基調で推移する見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2019年	1, 1 9 8	4 7	
		2020年	1, 1 2 9	4 2	
		2021年	1, 0 8 8	4 7	
		2022年	1, 1 5 8	5 0	
		2023年	1, 0 2 2	6 1	
	5カ年平均	1, 1 1 9	4 9		
	2024年見通し	1, 0 0 0	6 0		
概要	長野、北海道中心に入荷。国産品は酷暑続きで出荷に山がなく、芽吹きも悪い。また、短茎の物も多い。輸入品はコロンビア産の入荷量が減少し、中国産が増加する。				
か す み	実績	2019年	1 0 1	1 3 3	
		2020年	1 0 8	1 1 6	
		2021年	1 0 6	1 5 0	
		2022年	1 0 6	1 4 0	
		2023年	1 4 1	1 2 3	
	5カ年平均	1 1 2	1 3 2		
	2024年見通し	1 2 0	1 3 0		
概要	福島、長野から入荷。上旬は数量がまとまるが、中旬から減少する。入荷減に伴い単価も上がる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	3 2 9	1 7 0	
		2020年	3 0 5	1 6 2	
		2021年	2 6 8	1 8 8	
		2022年	2 7 8	1 9 1	
		2023年	2 5 7	2 1 2	
	5カ年平均		2 8 7	1 8 3	
	2024年見通し		2 6 0	2 0 0	
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道、埼玉、岐阜からの入荷。上旬は平年並の入荷となりそう。LAは新潟、埼玉からの入荷となり、入荷量は前年並の見込み。鉄砲は兵庫、愛媛からの入荷となり、台風被害もなく、安定した入荷が見込まれる。</p>				
洋らん	実績	2019年	5 1 4	6 8	
		2020年	3 1 6	9 1	
		2021年	2 9 5	1 0 4	
		2022年	2 9 9	1 3 4	
		2023年	3 4 0	1 1 8	
	5カ年平均		3 5 3	9 9	
	2024年見通し		3 0 0	1 2 0	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡などの国産品に加え、輸入品が入荷する。デンファレ、ソニア、アンナも入荷量は増える見込み。オンシジウムは上位等級が減少し、下位等級が増える見込み。シンピジウムはニュージーランド産中心となり、入荷は価格次第で変化する。カトレアは徐々に増え出し、コチョウランはほぼ横ばいの見込み。</p>				
ばら	実績	2019年	7 1 0	7 3	
		2020年	6 2 8	7 6	
		2021年	6 6 4	6 9	
		2022年	7 4 7	7 4	
		2023年	7 0 5	8 1	
	5カ年平均		6 9 1	7 5	
	2024年見通し		7 0 0	8 0	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、山形中心に入荷。国産は暑さの影響で長い物が少ない。夏場出荷を止めていた伊勢等の出荷も始まって入荷量は増える。輸入も同様に増えてくる。</p>				
枝	実績	2019年	1, 3 5 2	5 5	
		2020年	1, 2 1 2	5 5	
		2021年	1, 1 6 5	6 1	
		2022年	1, 2 4 8	6 8	
		2023年	1, 2 1 6	6 7	
	5カ年平均		1, 2 3 9	6 1	
	2024年見通し		1, 2 0 0	6 5	
概要	<p>秋の花材に大きく入れ替わる時期。イベントも多く、重陽の節句、敬老の日、十五夜、お彼岸と需要が高まる。一部の草花類はかなり前進しており、実物は高温で実がつかない。お月見用のススキは若干間に合わない可能性もある。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	2019年	23,289	776	
		2020年	23,582	755	
		2021年	21,998	1,084	
		2022年	25,779	958	
		2023年	22,482	737	
	5カ年平均		24,085	906	
	2024年見通し		22,000	727	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。輸入原木の高騰で、生産者が仕入れを減らしており、入荷量は減少する。特にユッカ・マッサンの大鉢サイズの定番品種の需要が減少しており、大鉢の販売は厳しい見込み。中鉢以下から4号、5号メインでの出荷が増えると予想される。前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（48.3%）、2位三重（13.6%）、3位沖縄（11.9%）。</p>				
オンシウム	実績	2019年	2,097	659	
		2020年	2,153	652	
		2021年	1,353	697	
		2022年	1,835	600	
		2023年	1,886	562	
	5カ年平均		1,865	632	
	2024年見通し		1,800	556	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。単価の伸び悩み、苗単価の値上がり、生産規模縮小により生産量が減っている。特に前年出荷の多かった愛知の出荷が減る見込み。ギフト商品なので3～5分咲程度の出荷が好まれる。前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（87.5%）、2位高知（12.5%）となっている。</p>				
アンズリウム	実績	2019年	7,888	754	
		2020年	5,583	874	
		2021年	8,428	874	
		2022年	9,031	828	
		2023年	6,177	866	
	5カ年平均		7,421	836	
	2024年見通し		6,100	850	
概要	<p>入荷量は前年より平年並か。前年同様、高温により花色が抜けて（特にピンク花）しまうため、8月中に出し切る生産者もいる。そのため、9月の出荷量は減る見込み。価格面でも夏のギフト需要が終了し、厳しい見込み。9月後半に気温が下がれば、需要が多少回復すると予想される。前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（87.7%）、2位長崎（6.2%）、3位滋賀（3.0%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバサボテン	実績	2019年	23,690	414	
		2020年	17,270	426	
		2021年	22,012	451	
		2022年	22,981	445	
		2023年	17,719	458	
	5ヵ年平均		20,734	438	
	2024年見通し		17,700	458	
概要	<p>入荷量は前年並か。8月は主に埼玉の山上げ物の出荷だが、9月からは愛知のクーラー物の出荷が始まる。年々残暑が厳しく、需要期が遅くなると予想される。価格面では3.5～4号の引き合いが強く、5号以上はやや苦戦か。気温が高く花の成長が早いため、蕾固めでの出荷をお願いしたい。</p> <p>前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（51.5%）、2位愛知（47.7%）、3位新潟（0.8%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	2019年	174,798	147	
		2020年	113,397	142	
		2021年	169,086	157	
		2022年	115,183	164	
		2023年	104,214	159	
	5ヵ年平均		135,336	153	
	2024年見通し		95,500	166	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。全国的に生産量が減少傾向にあり、入荷量も前年を下回る見込み。9月中旬からは3号のガーデンシクラメンを中心に入荷が始まり、10月上旬からは4号鉢以上の出荷が始まる。残暑や台風等の天候にも左右されるが、9月下旬からは相場が安定し、引き合いも強くなると見込まれる。</p> <p>前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（70.3%）、2位愛知（22.8%）、3位福島（1.8%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	2019年	47,055	199	
		2020年	32,171	230	
		2021年	34,980	249	
		2022年	33,503	242	
		2023年	26,957	259	
	5ヵ年平均		34,933	233	
	2024年見通し		26,900	260	
概要	<p>入荷量は前年並か。盆明けより埼玉の山上げ物の出荷が始まり、敬老の日に向けピークを迎える。但し、最近の猛暑の影響で開花の遅れ、病気や高温障害の発生が懸念される。価格面では、山上げ物の3.5号、4～6号の八重咲品種の引き合いが強く、比較的安定する見込み。</p> <p>前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（65.9%）、2位茨城（16.2%）、3位岐阜（15.7%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.615
2024年9月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434